

Weekly Report

2025-26

よいことのために手を取りあおう

創立 / 1965年5月22日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会場 / 江南商工会館1F 大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <https://www.kounan-rc.com/>
 Mail / kounanrc@beach.ocn.ne.jp
 会長/沢田 昌久 幹事/尾関 育良 会報委員長/野々垣 裕司



2025年(令和7年) 10月23日(木)晴れ 第2852回(当年度第12回)例会

点鐘
司会
ロータリーソング齊唱
四つのテスト齊唱

会長 沢田 昌久君
SAA 川崎 良一君
「我らの生業」
岩田 進市君

— 言行はこれに照らしてから —
 1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介



ロータリー財団常任委員会
国際ロータリー第2760地区 米山記念奨学委員会
委員

加藤 昇男様(瀬戸北RC)



カオ リ イエン ニーさん

会長挨拶



皆さんこんにちは。

人生とは、そう思い通りにいくものではない!
 昨年の暑い夏の時期に、パリでは、オリンピックが開かれました。
 パリ五輪の準決勝で敗退した競泳女子の池江璃花子選手は、涙をのみながら絞り出すように『ここまで努力はなんだったろう』とインタビューに答えました。

すべての面で絶頂期の時に、白血病に襲われ、競技人生どころか命そのものの危機に瀕した人の努力に、価値が無いわけがない・。

どんなにか悔しかっただろうと思わずにはいられない気持ちで、インタビューを眺めていたのを覚えています。

今年度、会長を受けるにあたっては、池江選手には及びもしませんが、自らの心臓の疾患については、手術を受けることで、命をつなぐ手立てがあることを先生から聞かされ、まだ生きられるんだと思いました。その時、私が思いついたことは、残りの人生を充実した、後悔のない人生にしようということでした。

ところが、このところの2度にわたる脳梗塞の発症があって、皆さんに迷惑をかけ、また職場や家内にもつらい、嫌な思いをさせてしまったことが、悔やまれます。特に朝の呼吸が苦しくなる発作や、長旅によるエコノミー症候群のせいで、長時間の飛行機の旅ができないなど、やれないことが増える度に、

海外旅行は無理と家内に伝えるつらさを感じます。人生は思い通りにはいきません。ならば、できうる事で、無理をせず、最高の人生を送りたいと考えることも不思議なことではないでしょう。皆さんも努力を惜しまずロータリーの親睦の心で、できうる限り人生を豊かにしてロータリーを楽しんでみましょう。

米山奨学生授与



米山奨学生 カオ リ イエン ニーさん

幹事報告 -別紙-

幹事 尾関 育良君

祝 福

委員長 田岡 剛君

出席報告

副委員長 松野 拓也君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
56名	45名	11名	83.33%

ニコボックス

副委員長 松野 拓也君

○本日は江南ロータリークラブ様の例会にて卓話を担当させていただきます。貴重なお時間を大切に使わせていただき、皆様にお役に立てるようせいいっぱい努めさせていただきます。

ロータリー財団常任委員会
国際ロータリー第2760地区 米山記念奨学委員会
加藤 昇男様(瀬戸北RC)

○クラブフォーラム ロータリー財団常任委員会
米山奨学委員会 加藤 昇男様、米山奨学生 カオ リ イエン ニーさん 本日の卓話 宜しくお願ひ致します。

沢田 昌久、中村 耕司、尾関 育良、佐藤 弘夫君

○米山奨学委員会 加藤様 ようこそ江南RCへ。
二ーちゃん 試験日にもかかわらず卓話引き受け
てくれてありがとう。がんばってね!!

杉浦 賢二君

○本日、クラブフォーラム 地区米山記念奨学委員会委員 加藤 昇男様 よろしくお願ひ申し上げます。

枚本 哲一君

○クラブフォーラム ロータリー財団常任委員会
国際ロータリー第2760地区 米山奨学委員会 加藤
昇男様(瀬戸北RC)
本日の卓話、宜しくお願ひ致します。
倉知 正憲、庄田 元久、岩田 静夫、長瀬 晴義、
南村 朋幸、富田 清孝、木本 寛、岩田 進市、
近藤 道麿、三輪 慎一郎、田岡 剛

各君

卓話



ロータリー財団常任委員会
国際ロータリー第2760地区 米山記念奨学委員会
委員
加藤 昇男様(瀬戸北RC)

まずもって本日は例会時の貴重なお時間を頂戴いたしましたことを心より感謝申し上げます。江南RCさんは東尾張分区 12RC の中でも伝統ある RC でありながら、服装の自由化やマイロータリー登録 100%を達成しているという非常に興味深いロータリークラブであるという認識がございます。そんなリスペクトもあり、緊張致しておりますが、役目柄米山月間ということで、毎年のようにお願ひを込めた固いお話しになろうかと思います。なんとか子守歌にならないように、要点を掻い摘んで進めていきますのでよろしくお願ひいたします。

まずは本年度の活動ビデオをご覧ください。時間の都合上、途中、音声を切って画像だけを見ていただきながら私の話を聞いていただくことになりますので、ご容赦いただきたいと思います。

また豆辞典は特に利用はしませんが、話の多くは辞典からの抜粋になりますので、詳しくお知りになりたい方は、豆辞典を参考にしてください。

1. ロータリー米山記念奨学事業とは
本事業は第一に日本で学ぶ外国人留学生を奨学生で支援する事業です。

日本最初のロータリークラブ創立に貢献した実業家「米山梅吉翁」の功績を記念して発足しました。梅吉翁が逝去した後、東京 RC が提唱し、日本全国の組織となり、1967 年に財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立され、2012 年 1 月には公益財法人に移行し、2017 年には設立 50 周年を迎、本年で米山基金創設から 70 年の歴史を持つ事業となつております。

2. 本事業の目的

この法人は主としてアジア諸国、又はその他ロータリー所在国の学生又は学者に対し我が国において勉強又は研究するための奨学生を支給し、ロータリーの理想とする
国際理解と親善に寄与することを目的とする。となっております。

将来、日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動のよき理解者となる人物を育成することが、この事業の使命であり、ロータリーが目指す平和と国際理解の推進そのものであります。

3. 事業の組織

この組織は日本全国のロータリー会員の寄付金を財源として成り立っております。
奨学生の選考や奨学生支給など、実際に奨学生に関する業務については①当会と地区②地区と世話クラブ間で業務委託という形をとっています。

4. 米山奨学事業の特徴

① 世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブから世話クラブが選ばれ、さらにその会員の中からカウンセラーがついて、奨学生との交流を深め、日本での生活が心豊かになるよう配慮していく制度となっています。

奨学生はロータリー会員との交流を通じて、奉仕の精神に触れ、自らを磨き人生観・職業観を高めます。また、ロータリー会員にとっても金銭的な支援だけでは得られない感動と、事業への深い理解が生まれ、更なる支援への意欲を盛り立てます。

世話クラブ・カウンセラー制度は米山記念奨学事業の神髄であると言えます。

② 民間最大の国際奨学事業

これまでに 24000 人以上の奨学生を支援した民間最大級の国際奨学事業です。

その出身国は世界 134 の国と地域に及びます。最近この奨学事業に採用している国別割合で中国が多すぎるのではないかと言われています。現在は 40%を割っていますが、今後はどの国も 30%未満にしていくこととしています。

併せて奨学生の選考ですが、留学の目的・将来の目標や交流への熱意をはじめ人間性・人柄・コミュニケーション能力・学業の優秀さをそれぞれの地区の裁量で図り、将来日本との懸け橋になりうる人材を選考します。

5. 米山奨学事業への寄付について

寄付増進のお願い(一番大切なお願い)

寄付の種類 1. 普通寄付金 每年 7 月 1 月の 2 回全クラブにお願いしてあります。2. 特別寄付金 上限制限のない無制限の寄付。一定の累積金額により表彰制度があります。

この事業の全体の収支をみてみると、昨年の決算は収入が約 13.3 億円、前年度比 1 億 1500 万円減でしたが配当金・利息収入が増加したため、総収入は 16 億 2900 万円と前年並みを維持しています。支出は 16 億 3600 万円と当期正味財産は 720 万円減となっております。

内訳の中で特筆するのは事業費割合が 97% (内

87%が奨学生)、管理費 3%で、公益性が極めて高いことです。

2760 地区の 2024-2025 年度の個人平均寄付額は約 15300 円と全国平均の 16000 円を少し下回りました。全国 34 地区の 16 番目となっています。

事業全体の寄付額から算出して、2024 年度の採用数は 926 人となっております。

ちなみに、2025 年度の 2760 地区の採用数は 53 名(内継続 16 名・新規採用 37 名)となっています。

そして、寄付が増えれば地区の採用数が増えることになりますので、毎年のお願いではありますが、ぜひとも寄付額が前年度を上回ります様この場をお借りしてお願い申し上げます。

どうやって、寄付金額の増量を図るのかと、よく質問を受けますが、各クラブごと様々なアイデアで寄付増進の工夫をお願いいたします。とお話しする以外にはございません。

あとは未来への希望に向けた熱意を寄付という形で託していただければと思います。

6. 奨学生への補償や個人情報に関わる取り扱い

奨学会では世話クラブの例会出席の 3 時間において奨学生が被った傷害や特定の疾病に対しての総合保険にも加入していますので、そういう事例が発生した場合には速やかに奨学会までご一報ください。

ハラスメント事案について

奨学生に接する機会が多くありますが、パワハラ・セクハラなどの行為は絶対に行わないようご注意ください。誤解や習慣の違いについて確認をするなど、奨学生との間で誤解の無いよう相互理解を深め、何かあれば奨学生がカウンセラーや他のクラブ会員・地区委員・地区役員などに相談しやすい環境づくりをお願いします。

万が一事が発生してしまった場合は地区米山奨学会委員会へご報告ください。

ハラスメント事案に関しては当会が定める危機管理規定に基づき、地区ガバナー及び地区危機管理委員会と当会とが情報を共有し、共同で対処致します。

7. まとめ

多様化する現代において我々昭和世代は、以前の自由闊達なフランクさを控え、この時代に順応する努力が必要となってきたことは、皆様も承知しておられる通りであります。米山記念奨学事業において、この新しい時代に新しい感覚で奨学生と向き合い、共に成長していくける素晴らしい人間関係を構築していくけるよう、我々地区の委員会メンバーも微力ではありますがお手伝いをさせていただきますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上を持ちまして米山記念奨学委員会からの卓話を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。

「ロータリー米山記念奨学会で学んだこと～成長と感謝の軌跡」



カオ リ イエン ニーさん

点 鐘

会長 沢田 昌久君

本日の食事



会報掲示板



My ROTARY

※ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760 アプリダウンロードははこちら



江南 RC 会報 YouTube
チャンネル登録ははこちら

(担当: 委員 伊藤 由香)